

博物館だより

リイシリ

371号

2026.04

利尻町立博物館

☎0163-85-1411

✉rishiritownmuseum@town.rishiri.hokkaido.jp

〒097-0311北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136

4/29

春の探鳥会

雪もとけて気温も上がり、利尻も春に突入しました。この時期は別れや新たな出会いなどが連続し、なんだか忙しい季節ですが、それは人だけでなく、鳥たちにとっても同じようです。この時期に見られる鳥たちには長距離の渡りの途中で島で休憩していくものもいれば、子育てのために島を利用するものもいます。探鳥会をとおしてそんな鳥たちの様子を少しだけ覗いてみるのはいかがでしょうか。

【日時】4/29（水・祝）7：30～9：00。雨天の場合は中止いたします。【場所】利尻町杓形・森林公園。【集合場所】森林公園駐車場。【持ち物・服装】筆記用具、双眼鏡、カメラなど観察用具（双眼鏡は数台貸出できますので、ご希望の方はお申



観察会などへのお申込は電話、メール、博物館HPのお問合せフォームから。もし返信がない場合は電話にてご確認ください。

4～5月の開館カレンダー

月曜日および祝日の翌日は休館日ですが、4/30は臨時開館日となります。また、5/12は資料管理のための臨時休館日となります。

2026 4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

○ 祝日・休日

／ 休館日

◇ 臨時開館

◇ 臨時休館

し込み時にお知らせください)。登山靴などフィールド散策に適した靴、長袖長ズボンがおすすめです。【申込】4/24（金）までに、お電話かメールにて、博物館に(1)お名前、(2)前・当日つながらる電話番号をお知らせください。定員は先着10名程度を予定（定員となった場合は9：30から2回目を行います）。

4/10～

利高「地域探究」展

北海道利尻高等学校では「総合的な探究の時間」の中で、自分らしく社会に貢献できる人材の育成および本質に迫る能力の育成を目指し、生徒たちが地域課題の探究を行う学習活動を行っています。今回は、2年生4グループ計17名の生徒たちが行った探究の成果を博物館ロビーに展示します。それぞれ地域課題の解決に取り組む高校生たちの成果をご覧ください。

【題名】北海道利尻高等学校総合的な探究の時間「地域探究」展【日時】4/10（金）～5/31（日）。【場所】博物館ロビー。【主催】北海道利尻高等

目】▼利尻島のアマガエルはどこへ消えた？～環境DNAから探る～。▼利尻の若者の流出～高校生の私たちにできること～。▼＃いろんな利尻撮ってみました！。▼駒場東邦高校を通じて利尻の可能性を考える。

北海道利尻高等学校 総合的な探究の時間

「地域探究」展

島を深める。

地域を調べ、問いを立て、探究した成果のまとめ

2025

利尻研究45号発刊

昨年度末に当館研究紀要「利尻研究」45号を発刊しました。利尻研究では利尻島およびその周辺地域や離島に関する研究、当館の所蔵資料を題材とした報

りしりよもやまばなし

利尻四方山話 その3 エゾエンゴサク



利尻の春を紫色に彩る花です。葉に変異があり、島内では葉の一部が白くなる斑入りの変異がみられます。島の人には「アメフリバナ」と呼ばれ、由来は「摘むと雨が降る」からといわれています。花を吸うと甘い蜜の味がしますが、海岸付近に生えている株はしょっぱいのでご注意を…

告などを掲載しています。今号では、生物の記録、住民への聞き取り調査の報告など、自然史・人文分野様々な11本を掲載しています。博物館で閲覧・購入できるほか、ホームページからも閲覧できます。掲載論文は以下のとおりです。

▼風間健太郎・風間宗一郎・風間麻未・河村真穂：利尻島沖におけるシャチ *Orcinus orca* 大型群の観察記録. 1-2. ▼山田 航・佐伯智哉・里見太輔：利尻島におけるヒロオビナガタマムシの記録. 3-5. ▼石橋整司・鈴木 愛・前原 忠：利尻島西部斜面における森林の林分構造と年輪解析. 7-16. ▼佐藤雅彦・鈴木奈未・鈴木隆大：利尻島におけるオヒキコウモリ属の目撃例. 17-19. ▼柏崎 昭：礼文島およびトド（海驢）島の甲虫目録 一附録：利尻島の甲虫目録（柏崎, 2024 & 2025）の補足一. 21-48. ▼塩崎翔大・貫名涼・今西純一：北海道利尻町杵形における昆布生産への住民参加の実態と地域コミュニティへの影響. 49-58. ▼川井唯史・

栗林貴範・ガラニン・ドミトリー・鍵水 梢：北海道およびサハリン沿岸域におけるコンブ類 *Saccharina japonica* の炭素・窒素比. 59-66. ▼開澤菜月・栗原良輔・山内健生：利尻島・礼文島のヤスデ綱およびムカデ綱ゲジ目. 67-76. ▼近藤憲久：チブコウモリの音声解析と捕獲調査から見た稚内地域の分布. 77-82. ▼倉西良一・加藤敦史・金子裕明：礼文島のトビケラ. 83-88. ▼風間健太郎・澤田 明・八木陽生・八木涼介・八木美絵・風間宗一郎・風間麻未・佐藤雅彦：利尻島におけるトラフズク *Asio otus* の繁殖初記録. 89-92.

事業報告

第54回移動展示

おかげさまで第54回移動展示「博物館ニュース2025」も無事終了しました。島内4箇所を移動し、普段博物館に足を運ぶことの少ない方々にも博物館の活動成果を見ていただけたことと思います。今回の展示では島で新たに見つかった昆虫を多数展示しましたが、今後もまだまだ島

未記録の生物が見つかっていくかと思います。皆様ももし見慣れない生物を見かけましたら博物館までご一報ください！



掲示板

資料寄贈 ▼DVD20点（コーラス島の音定期演奏会、SO-YA夢コール）、2/11、中川原潔。▼AV資料6点（LD等）、黒電話1点、久連小学校関連資料6点（廃校記念手ぬぐい等）、その他利尻関連資料5点（さざなみ等）、3/25、木村愛子。▽貴重な資料のご寄贈、まことにありがとうございます。

リイシリの購読・閲覧 博物館のホームページにて、最新号のほか過去2年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメール」もありますので、ぜひご利用ください。ネット環境が無い方、メールでの受け取りができない方の場合、利尻町内の方には無料でお配りしているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問合せください。

編集後記 島に来て1年が経ちました。体感的には「本当にまだ1年だっけ？」というくらい楽しく濃密な一年間でした。引き続き頑張ります（富永）